

# KADOGAWA



## 議会だより かどがわ



門川中学校完成予想図

### 目次

補正予算	2
一般質問	4
委員会報告	7

平成16年7月  
NO. 99

6月議会

補正予算  
一般会計

一般会計補正予算は、5億7,450万5千円を追加し、予算の総額は70億950万5千円となりました。

平成16年6月定例会は、6月8日に開会し一般会計及び、老人保健特別会計の補正予算、町税及び国民健康保険条例、消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例等の一部改正、同意案件、意見書等について審議しました結果、全議案賛成多数により可決し、18日に閉会しました。

歳入 補正額

地方交付税	1,346万4千円	普通交付金
国庫支出金	8,180万8千円	国庫負担金、国庫補助金
県支出金	1億 334万7千円	県補助金
繰入金	1億2,621万2千円	特別会計繰入、基金繰入
諸収入	2,757万4千円	設置事業収入、雑入
町債	2億2,210万円	
歳入合計	5億7,450万5千円	

歳出 補正額

総務費	1,073万1千円	需用費、委託料等
民生費	384万4千円	委託料等
農林水産業費	1億 495万2千円	補助金、工事請負費等
土木費	2,028万7千円	工事請負費、負担金等
教 育 費	4億3,469万1千円	工事請負費等
歳出合計	5億7,450万5千円	

委員会報告 (補正予算)

総務助常任委員会

本委員会所管の補正につきましては、今回は、企画商工業課のみでありました。歳出につきましては、地域省エネルギービジョン策定等事業の調査委託費と、長期総合計画策定事業の部分的見直しに伴う印刷製本費等の、合計1,073万1千円が計上されております。主な内訳は、長期総合計画審議会に伴う報酬として57万8千円、旅費85万5千円、需用費241万8千円、委託料592万円等であります。

- 
- 
- 

文教厚生常任委員会

今回特筆すべき補正予算としまして

は、門川中学校改築の事業です。平成16年度で4億3,219万1千円の計上となっております。本年度の財源内訳は、国県支出金8,180万8千円、町債2億1,070万円、その他太陽光発電補助が1億1,564万5千円であり、一般財源からは2,423万3千円の支出となります。

その他としましては、西門川小中学校校長住宅購入費3,990万円がありますが、債務負担行為で公立学校共済組合投資によって支払うものです。

平成16年度門川町一般会計補正予算については農業振興費の8,390万2千円は輸入急増農産物特別対策事業に伴うもので、輸入野菜に對抗し得る産地を育成するものであります。水産業費の2,105万円は、漁業経営構造改善事業の工事請負費等と販売開拓等に係る資源管理型漁業促進対策事業であります。河川改良費の70万円は五十鈴川防災ステーション平面図作成業務の委託料であります。砂防費の1,805万円は、4地区の急傾斜地崩壊防止事業に係る工事請負費、負担金等であり

産業建設常任委員会

万円が小園臼太鼓踊りの用具整備補助として計上されています。

- 
- 
- 

条例改正

門川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

地方税法による町税算定に伴う総所得金額等が確定しましたので、これに伴う国民健康保険税被保険者(医療分)の所得割額の税率の改正と、介護納付金課税被保険者(介護分)の改正及び軽減世帯に対する軽減額の改正と地方税法の改正に伴う附則の一部改正です。

門川町税の一部を改正する条例について  
地方税法並びに租税特別措置法

ます。街路事業費の60万円は、アクセス道路及び上納屋地区に係る土地の測量登記

記委託料であります。土地区画整理事業費の93万円は、墓地駐車場予定地内に

ある電柱の移動補償金等であります。

等々の関係法令の一部改正が行われ、それに伴いまして町税条例の一部を改正するものです。

- 改正の主なもの  
①個人住民税の均等割の見直し  
②老年者控除の廃止  
③土地譲渡益課税の見直し  
④金融・証券税制の見直し  
⑤固定資産税における家屋の付帯設備に係る課税関係の見直し
- 改正内容  
団長以下すべての階級・勤続年数ごとにあって、2,000円増となります。

選任同意

門川町固定資産評価審査委員を同意

松下八美氏

**問** 今、国の政治の方向が国民の負担の増加と大企業優遇の方向、また、憲法改悪と軍国主義へと進んでいるのではないかと思います。末恐ろしく考えられます。町長の平和への見解をお尋ねします。

**町長** 一つは、過去に忌まわしい戦争体験を持ち、唯一の被爆国として、恒久の平和を念願し、非核三原則の宣言も行い、戦後の復興を進め、今日の繁栄を築きました。現在の平和で豊かな日本を子孫に伝えていくことが私達の使命であると思う。しかし、国際的には、種々の紛争や



**平和への基本姿勢は**

**町長** 地域や家族のコミュニケーションを取り戻す

テロがあり、憂慮に絶えない。世界の人々がそれぞれの立場を理解し、恒久の平和を求めるため相互協力することを願います。

もう一つは、地方自治体を中心とした地域社会においての平和、家庭の中の平和です。種々報道さ

浜口 惇



**五十鈴川沿いの環境整備を**

安田 茂明



**町長** 一部舗装等は今後の検討課題

**問** 小園分蔵大橋より下流1・5kmの堤防の舗装は出来ないのか。

**町長** 堤防の一部舗装については、必要であると認識して施設整備等の可能性及び

**問** 管理移管した場合の諸問題等を含め調査研究している。堤防の一部舗装等については、今後の検討課題にする。

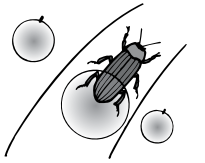
**町長** 堤防に桜の木を植樹できないか。

**町長** 地域住民及び観光協会との要望を受け、五十鈴土地改良区、日向土木事務所等と事前協議を行い、日本さくらの会に緑化推進機構等による、桜苗木の配布を要望している。



小園の堤防

**一般質問**



**道路側溝の清掃に助成を**



**町長** 業者委託の場合、補助金は今後の検討課題

黒木 裕

**問** 各地区がどのような対応しているか、実情を把握しているか。町当局の対処は適正だと考えているか。清掃に対する援助（補助金）の考えはないか。

**町長** 地区清掃に対し、ふた上げ機の貸し出し、汚泥運搬ダンプの貸し出し、薬剤の幹旋などを行っている。また、年次的に蓋の軽量化を図っている。高齢化に伴って業者委託の増加も考えられるので、補助金については今後の課題としたい。

**公園内における遊具と清掃について**

**問** 遊具の点検と安全性、遊具使用における事故の責任問題と草刈りなどの清掃並びに環境整備は。

**町長** 日本公園緑地協会



庵川西近隣公園

等の会員である専門メーカーに依頼し、遊具の状況を詳細に総点検。基本的に町公園内の遊具は選定の段階で生産物賠償責任保険及び、請負賠償責任保険加入のメーカーを選定し設置。公園の維持管理については町で管理すべき公園と地区にお願いすべき公園に分け、公園の植栽等を含め危険度の高い作業については区長と協議しながら維持管理に努めている。

**今後の門川町の方向性について**



**町長** 5月・6月にかけて構想の素案作りを行なう

小林 芳彦

**問** 今回、門川町は合併しない、つまり、自立の道を選択したが、今後の門川町について、町長はどのような考えをもっているのか。

**町長** 5月にプロジェクトチームを設置し、5月から6月にかけて

て構想の素案作りをしている。その素案を基に補佐・係長を中心とした作業部会で検討を行い、9月に課長からなる幹事会にて行財政改革をまとめ、10月に民間代表者からなる審議会に諮問し、広く審議して、議会に報告する。



定例課長会の様子

# 町長は町独立の今後のビジョンを示せ

平田 真文



町長 門川町行財政改革構想を策定中

## 意見書

中山間地域等直接支払制度の継続を求める意見書について（可決）

※中山間地域においては少子高齢化問題が深刻化する中で、自然的・経済的・社会的な条件の不利益性から農業担い手の減少や耕作放棄地の増加等によってこれらの多面的機能が低下し、国民全体にとって大きな経済的損失を生じることが懸念され始めている。国土保全や環境保全の観点からも更に制度を拡充すべきものである。（意見書提出）

## 決議

広域行政調査特別委員会の設置に関する決議

※設置の目的  
門川町が抱える広域的行政課題を解決するための調査研究



町長

今後のビジョンで、大変難しくなる町政について、今後どのように行財政改革を行うのか。予算の試算を示せ。

「門川町行財政改革構想」については、秋頃を目途に現在策定中であり、並行して今後5年間の財政状況のシミュレーションも行っていきます。この財政シミュレーションの数値如何では、構想の実施計画内容を強化、又は早めたりすることもあります。

町長

町長の住民説明会での「独立してやっていける」発言は明らかに公約違反ではないか。

県内の市町村の財政状況、地方債残高等の比較をもとにした本町の財政状況を説明したものであり、合併はしなくても財政的には大変厳しい状況になってきていますが、行財政改革等を進めることにより可能なものであると、町民の判断材料として説明したものです。

町長

リサイクルの町の取り組みはどのようになっているのか。

# 視察調査報告

## 総務財政常任委員会

去る5月中旬兵庫

県北淡町、奈良県明日香村の二町村の視察調査を行いました。北淡町につきましては、大震災の震源地における防災対策、復旧時の課題、現在の状況等の調査であり、明日香村については、行財政改革を強力に推進している村の施策の取り組みについての調査でした。

先ず北淡町について記します。北淡町は人口10,755人、3,716世帯、面積51㎓（門川町120㎓）、職員数1

90人であり、今回は平成7年1月17日に発生し死者6,400人以上という戦後最大の被害をもたらし、この北淡町でも39名の尊い命を亡くしました阪神淡路大震災の震源地における防災対策等であり、被害状況については、マグニチュード7.2

がもたらした直下型地震が約40秒という瞬時に町内全域にわたって壊滅的な被害をもたらしたものであります。しかし一方で消防団員の救出作業、災害対策本部

の素早い設置、水道以外のライフラインが機能したこと等が初期対策の一助となつたようです。以後

仮設住宅の設置や障害物撤去、給食、給水支援、倒壊家屋撤去等自衛隊やボランティア等の支援を受け復旧に向けての対策を講じて行きました。現在では安心安全のまちづくりとして、福祉施設の誘致、簡易水道、公共水道の充実、土地区画整理事業、地域防災計画の策定、防災行政無線システムの設置等を柱に人と人が

互いに信頼し、協力し合う地域コミュニティの醸成に全町民あげて努力して

続いて、奈良県明日香村であります。平成11年3月に「第3次明日香村総合計画」を策定し、「生まれよかつた、住んでよかつた、来てみてよかつた、ふるさと明日香」を基本理念に、計画に盛り込まれた村づくりの施策を着実に推進することとし、行財政改革の推進体制は（効果的な財政運営）（組織・機構の再編）（施策の再編）（効果的な行政運営）（行政の公正・透明性）（村民参加）の6つを柱として体系化し、改善の基本方針と改革を図るべき課題を明確にしました。以上の改革により約36億円の経済効



震災直後の家屋倒壊の様子



説明を受ける様子（北淡町）

# 文教厚生常任委員会

去る平成16年5月19日より3日間の日程で、市町村型小型合併浄化槽設置整備とゴミの減量化と資源化を目的とする施設について、先進地視察をし、調査を行いました。

## かどがわ

まず始めに、京都府綾部市の市町村型小型合併浄化槽設置についてですが、主に次の3項目について調査しました。

(1) 事業への経緯  
綾部市は未だ汲み取り式が大半であり、今後の市財政状況から、これまでの水洗化事業を見直し合併浄化槽による水洗化に取り組む経緯があった。

(2) 事業内容  
公共下水道及び農業

排水事業の計画区域の見直しを行い、集合処理の計画区域外の綾部市全域を特定地域生活排水処理事業区域に指定し、水洗化普及率100%を目指す。

(3) 維持管理費等の徴収等  
浄化槽の使用料は平均世帯3人の場合3万8,280円ですが、電気代は毎月500円の減額をしています。門川町においては、基本的に異なり水洗化は単独浄化槽により進んでいる、主に制度的な変更の面と、公共下水道又は小型合併浄化槽に切り替えていく地域の明確化、個人負担の軽減措置等を考慮しながら、実

施していく必要があると考えられます。次に滋賀県湖北広域行政事務センター管理のゴミ焼却処理工場を中心としたクリスタルプラザの調査について報告します。

当センターは長浜市のほぼ中央に位置し、周辺には一般住宅、事務所、商店等が隣接し、以前からあった清掃工場をゴミ処理施設・クリスタルプラザ(リサイクル工場棟)さらにはリサイクル学習の場としてガラス工房館の設置があります。特にクリスタルプラザについては、地球環境の保全と循環型社会の構築を目指し、徹底したゴミの

分別を行っているました。取り扱い品目はビン類、乾電池、ペットボトル、紙パック、空き缶等9種類に分類し、その中でも発泡スチロール、プラスチック製容器包装は再生精度が高く、写真のような工業製品のようななっていました。

公害対策も最新の技術を結集し、高性能な有害ガス除去装置、及び高効率低温バグフィルターを設置しています。また、工場から出る排水は、薬品処理ののち工場内で再利用されていました。



再生された発泡スチロールの原料(業者に引きとられ新しい製品になります)



クリスタルプラザ内の様子

製品業者への引き渡し先、処分費用などの問題を解決する必要

があると考えます。

# 産業建設常任委員会

去る5月11日から13日まで、佐賀県牛津町、有田町に公共下水道事業、熊本市天明町に漁民の森植林事業の所管事務調査を行いました。

牛津町の公共下水道事業についての事業着手の合意形成は、基本構想策定後、町議会、区長及び婦人会の代表者で構成する下水道検討委員会の全員協議会でも説明を行い、賛同を得て着手したとのことであります。

受益者負担金と使用料については、受益者が負担する負担金の額は1世帯当たり18万円で、徴収方法は、年2回払いの4年間、8回の分割払いとなっております。

また使用料は、水道使用料8.0mまで1,000円の基本料金に1.1mにつき140円の超過料金となっています。

有田町の公共下水道事業についての町全体の汚水処理計画は、平成元年に事業基礎調査を行い、市街地は公共下水道、農振地域は農業集落排水施設の整備方法で、下水道エリアマップを作成したとのこと。

受益者負担金と使用料については、負担金は宅地面積に応じて算出され、基準額は1.0m当たり450円で、徴収方法は、5年分割で1年分を4期に分けて合計20回で納めるようになります。

っており、また使用料は、水道使用料10.0mまで1,300円の基本料金に4段階に分け、1.1m150円から2.300円の超過料金が加算されています。

熊本市天明町の漁民の森・植林事業についての報告をしますと、有明海に臨む天明地区では、有明海の汚染が深刻化し、アサリの漁獲量が激減したのをきっかけに、漁民の有志が集まり平成5年に「天明水の会」を設立し、有明海に流れ込む緑川上流の山

に、豊漁を願って広葉樹を5,000本植樹したのが「漁民の森」の始まりとのこと。海への汚染は決して漁民だけの問題ではなく、すべての人の問題であることを、植林活動を通して訴え続けてきました。その結果、流域に住む人々の環境に対する意識が高まり、山や川の清掃はもちろん、家庭排水やゴミの不法投棄なども厳しい目が注がれるようになったとのことでした。森づくりは数十年という長い時間が必要で、植林事業を継続的な活動にする為

に達しているとのこと。所感として、公共下水道事業の研修を行って感じたことは、財政的な問題等で事業の遂行に影響が出てきているということ。公共下水道は、環境面を長期的に考えれば、弾力性があると思えますので、本町においても、環境審議会及び行政、町議会が一体となって研究、検討する必要があると思えます。

高に、流域の小・中・高校に参加を募り、県内の37校で1,400名という輪は着実に広がっているそうです。今では植林面積は、国有林とその他を含め45ha以上

次に、漁民の森事業については、この問題で取り組むことが必要です。森林の持つ多面的役割からして、海の形態の変化を見守り、更に死の海、死の川にならない為に、森の大切さを今一度見直す必要があるのではないのでしょうか。



公共下水道の施設を見学(有田町)

## かどがわ

# ぎがいつラッシュ



かどがわ温泉「心の杜」のプール



消防操法大会（門川海浜総合公園）

## 議会のうらさき

4月

- 5日(月) 門川町戦没者追悼式
- 7日(水) 中学校入学式・常任委員会
- 8日(木) 小学校入学式
- 15日(木) 文教厚生常任委員会
- 16日(金) 総務財政常任委員会
- 21日(水) 議会運営委員会
- 22日(木) 第55回全国植樹祭
- 27日(火) 全員協議会・常任委員会

5月

- 9日(日) 牧山地域農営畑地帯総合整備事業竣工式
- 10日(月) 総務財政常任委員会視察調査
- 11日(火) 産業建設常任委員会視察調査
- 13日(木)

6月

- 1日(火) 議会運営委員会・総務財政常任委員会
- 2日(水) 文教厚生常任委員会
- 4日(金) 文教厚生常任委員会・産業建設常任委員会
- 8日(火) 本会議
- 9日(水) 本会議（一般質問）
- 14日(月) 本会議
- 15日(火) 常任委員会
- 17日(木)
- 18日(金) 本会議
- 30日(水) 国道388号（門川町）椎葉村間 整備促進期成同盟会総会
- 17日(月) 文教厚生常任委員会視察調査
- 19日(水) 全員協議会
- 24日(月) 地方財政危機突破総決起大会・国会議員陳情
- 25日(火)

## 編集後記

梅雨も明けまして暑い夏がやってきましたが、町民の皆様も体には十分ご慈愛ください。さて、今度の補正で門川中学校改築事業が始まり、本体の工事は11月から翌年7月までに行い、平成17年、10月までにはすべての改築が終了する予定です。

また、特別委員会設置の決議に伴い、編集委員が1名代わりしました。今後とも議会だよりに対する暖かいご支援とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



黒木 裕  
安田 修  
安田 茂明  
黒田 利治  
平田 真文  
小林 芳彦